

重点施策点検・評価表

3-1-1

推進目標					
3	市民の学習環境の充実				
重点施策					
1	学社連携・融合事業の推進				
	担当課(館)				
①	放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室推進事業の実施				
	生涯学習課				
活動内容	厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」及び文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」を実施し、「安全・安心」を第一に充実した放課後を過ごせる場を提供。事業は市内19小学校全学区で実施しているが、今年度、保護者からの要望により、7月から3月まで1時間の時間延長を5児童クラブで試行する。				
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る 旧大館市内の5児童クラブで、7月から19時までの時間延長を実施した。利用する児童は各児童クラブともほぼ定着しているが、実施に向けて最も懸念された児童の情緒の安定については、学校と連絡を取りながら情報を共有し、情緒の安定に努めている。18時以降まで残る児童については、事前におやつを持参するように保護者へ連絡しており、時間延長によるトラブルや保護者からの苦情はなく評価できる。				
課題等	児童クラブの実施時間等、ソフト面での向上は認められ、19時までの開館も希望者については継続するが、どの児童クラブも定員を上回り、その中でも有浦児童会館、城南児童会館の狭隘さが問題となっている。 <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>取組の方向性</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 単年度</td> </tr> </table>	取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止検討	<input type="checkbox"/> 単年度
取組の方向性					
<input checked="" type="checkbox"/> 継続					
<input type="checkbox"/> 廃止検討					
<input type="checkbox"/> 単年度					
学識経験者等の意見	・児童クラブは保護者が安心して働くために必要な事業であり、就労形態の多様化に対応した事業展開が求められてくると考える。そのひとつが開館時間の延長であり、評価できる。 ・有浦、城南児童会館の狭隘解消の目処がたったことも評価できる。				
②	学校支援地域本部事業の推進				
	生涯学習課				
活動内容	文部科学省から県への委託事業で、市町村へ再委託するもの。地域の教育力を学校教育へ活用し、地域ぐるみで子どもを育む環境を整備する。今年度で事業終了であり、学区に設置される「学校支援地域本部事業」の推進を継続する。				
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る 今年度も5本部(4小学校、2中学校)で事業を継続しており、各本部とも環境整備、学習支援、部活動支援などに、地域の特色を活かしながら地域の教育力を大いに活用している。正課クラブなどにエキスパートをお願いすることで、子どもたちの反応もあり成果が現れている。学校のみならず、地域の活性化が図られており、評価できる。				
課題等	今年度で委託事業が終了し、来年度から補助事業に移行するが、事業実施は5本部から11本部へ拡大する予定である。予算的には補助対象の経費が限られているため厳しいが、事業の趣旨が理解されて定着し拡充しているが、新規に取り組む本部については、学校・地域ともに知恵を出して進める必要があり、今後の取組についてはゼロ予算を見据えての事業展開が課題といえる。 <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>取組の方向性</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 単年度</td> </tr> </table>	取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止検討	<input type="checkbox"/> 単年度
取組の方向性					
<input checked="" type="checkbox"/> 継続					
<input type="checkbox"/> 廃止検討					
<input type="checkbox"/> 単年度					
学識経験者等の意見	・地域に開かれた学校から一歩進めて、地域の資源を学校教育に活用することは意義のあることである。 それぞれの地域の特徴を活かした活動が見られ、評価できる。 今後は、学校から地域へ還元するという双方向の関係を築いていく必要がある。				

重点施策点検・評価表

3-1-2

推進目標			
3	市民の学習環境の充実		
重点施策			
1	学社連携・融合事業の推進		担当課(館)
	③ 家庭教育支援事業の実施		生涯学習課
	活動内容	家庭教育推進事業として、県の市町村少子化対策包括交付金を活用して、「子育て講座」及び「しゃべり場」を開催する。 小・中学校、保育園など44施設から、「子育て講座」の開催申込がある。	
	点検評価	□目標を上回る □目標どおり ■目標をやや下回る □目標を大幅に下回る 「しゃべり場」については、子育てサポーターリーダーへ働きかけたものの、「家庭教育支援チーム」が予定通り機能せず、年間を通しての活動とならなかった。 「子育て講座」については、無料講師の利用件数の増加により、本事業利用講座は41講座にとどまった。	
	課題等	子育てサポーターリーダーへの負担を平均化し、「家庭教育支援チーム」が機能できるよう援助し、「しゃべり場」を開設して、子育て中の母親などの育児不安の解消に努める事が課題といえる。	取組の方向性 ■ 継続 □ 廃止検討 □ 単年度
	学識経験者等の意見	・地域全体が子どもを育てていくことを考えていく必要があり、そのために孤立した母親をなくすための「しゃべり場」は母親同士のつながりをつくり、気軽におしゃべりする中で子育てへの不安解消ができる場として、実施することに意義がある。年間を通して活動できなかったことは残念な結果ではあるが、今後も継続していくべき活動といえる。 今後も、公民館、福祉課など関係部署と連携して実施することを望む。	
	④ 達人講座の継続実施		生涯学習課
	活動内容	文部科学省の委託事業を活用して、平成16年度から開催している。 委託事業終了後も自主的に継続実施	
	点検評価	□目標を上回る ■目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る 委託事業終了後の今年度も、講座の入れ替えがあったものの、地域の達人が20講座を自主的に開設しており、381人の子どもたちが登録して、様々な活動をしている。 地域の教育力の活用が図られており、評価できる。	
	課題等	引き続き、地域の教育力を生かして子どもたちへの体験活動を継続させたい。	取組の方向性 ■ 継続 □ 廃止検討 □ 単年度
学識経験者等の意見	・様々な分野の「達人」の力を借りて、子どもたちへの体験活動を提供することは、子どもたちの情操を豊にするためにも意義のあることであり、評価できる。今後も継続すべき。		

重点施策点検・評価表

3-2-1

推進目標	
3	市民の学習環境の充実
重点施策	
2	青少年の健全育成と地域活動の促進
	担当課(館)
	生涯学習課
	① 大館市青少年問題協議会の充実
活動内容	大館市青少年健全育成推進方針を策定し、青少年健全育成に対する市民の意識高揚、環境整備など様々な活動を通し、青少年健全育成を図る。 ○7月3日「青少年を非行から守る市民のつどい」「第60回社会を明るくする運動」
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る 関係機関や団体と連携しながら、「青少年を非行から守る市民のつどい」「社会を明るくする運動」を開催して、市民の意識高揚を図り、青少年を取り巻く環境整備・浄化に努めている事が評価できる。
課題等	今後も引き続き、大館市青少年健全育成推進方針を策定し、青少年健全育成に対する市民の意識高揚、環境整備など様々な活動を通し、青少年健全育成を図る。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	・青少年は次代を担う社会の宝であるという観点から、社会全体が青少年の健全育成に対する意識を持つ必要があり、協議会の活動は評価できる。今後も関係機関などと連携して継続のこと。
	② 少年相談センターの活動の充実
	生涯学習課
活動内容	運営協議会委員、補導員、学校など関係機関と連携し、学校訪問、合同巡回等、青少年健全育成のための環境維持に努める。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る センターにおける相談活動や、関係機関・関係者との定期的な協議、補導員との合同巡回など、青少年の抱える問題の解決と環境維持に努めているほか、放課後児童健全育成のための関係機関との調整役など、評価できる。
課題等	引き続き、運営協議会委員、補導員、学校など関係機関と連携し、学校訪問、合同巡回等、青少年健全育成のための環境維持に努める。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	・子どもたちを取り巻く環境はより複雑になってきている。その中で、保育所や学校のみで子どもたちをみる、考えることには限界があり、他機関との調整役が相談センターであり、重要な機関といえる。活動内容についても評価できる。今後も引き続き関係機関との連携を密にし、青少年健全育成のため継続のこと。

重点施策点検・評価表

3-2-2

推進目標			
3	市民の学習環境の充実		
重点施策			
2	青少年の健全育成と地域活動の促進		担当課(館)
	③ 関係機関への補助金交付による支援		生涯学習課
	活動内容	青少年育成大館市民会議、子ども会育成連合会など関係団体への補助金交付により、その活動を支援する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る 他に、ボーイスカウト秋田第4分断、大館地区少年保護育成委員会、大館鳳鳴高等学校振興会など、社会教育に関わる団体へ補助金を交付し、市の活動を支援している。	
		課題等	今後も市の予算の範囲内で交付し、支援する。
	学識経験者等の意見	・市の厳しい財政事情もあろうが、継続して支援していただきたい。	
	④ 公民館事業における青少年健全育成の取り組み		中央公民館
	活動内容	小学生を対象に、土曜日や夏休みなどの休日を利用した青少年健全育成事業を行う。 ○わんぱくスクール～自然に親しみ、他校児童との交流を通し集団活動の大切さを学ぶ。 ○夏休み将棋スクール～日本の伝統ゲームを学び、対局を通して他校との交流、友達づくりを図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る わんぱくスクールは6月から2月まで全10回で開催し、過去最高の34人が受講した。夏休み将棋教室は、全4日間で延べ107人が参加。新春書初め交流会は1日のみの開催であったが、20人が参加した。参加者数は例年と比較しても順調であり、目標以上の成果があったと思う。	
		課題等	わんぱくスクールでは講師2人を継続してお願いしている。この講師に加え、これからは高校生ボランティアにも参加していただき、弟や妹(参加者)と一緒に遊んでもらったり、交流してもらったりすることが、子どもたちにとっても、高校生ボランティアにとっても新しい公民館活動のあり方となると考えており、新年度の課題と位置づけている。 書初め交流会の講師は、老壮大学の書道クラブ員6人が務めており、書道クラブ員にとって新たな生きがいづくりに繋がる事業となったことから、各種活動に世代間交流とボランティア講師等を盛り込みたい。
学識経験者等の意見	・小学生に、学校授業と違った体験をさせることは大切であり、メニューも毎年工夫が見られる。継続して実施していただきたい。		

重点施策点検・評価表

3-3-1

推進目標	
3	市民の学習環境の充実
重点施策	
3	市民の生きがいづくりの推進と生涯学習ボランティア活動者登録と活用
	担当課(館)
	生涯学習課
① 社会教育委員の活動の充実	
活動内容	生涯学習推進計画や社会教育推進計画等、社会教育推進のための基本方針や重点施策を策定し、社会教育全般の運営を行う。平成20年度からは、教育委員会点検・評価への意見・提言を行っている。 今年度は、第5次社会教育中期計画を策定する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る 社会教育全般に対する指導・助言のほか、研修会に出席して自己研鑽に励んでいる。教育委員会点検・評価への意見・提言を行っており、その活動は評価できる。第5次社会教育中期計画策定にあたっては各部会の中心となり、「計画」の中に「市民の目標」を設定し、市民の目線に立った計画の策定となったことは画期的であり、評価できる。
課題等	平成23年度は改選期となるが、継続して、生涯学習推進計画や社会教育推進計画等、社会教育推進のための基本方針や重点施策を策定し、社会教育全般の運営を行う。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	・第5次社会教育中期計画策定にあたり、各部会の中心になって活動し、今までにない市民の目線に立った、わかりやすい計画を策定できたことは評価できる。 今後も引き続き、社会教育推進のため継続のこと。
② 生涯学習推進協議会委員、生涯学習奨励員の活動の充実	
	生涯学習課
活動内容	関係団体相互の連携をとりながら、「だれでも・いつでも・どこでも・なんでも」できる生涯学習の推進充実を図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る 生涯学習推進協議会委員には、それぞれの立場から生涯学習推進事業などへの指導・助言・意見をいただいている。生涯学習奨励員は、生涯学習フェスティバルへの参加、各種研修等による自己研鑽、個々の活動による生涯学習の推進に努めている。
課題等	今年度の生涯学習奨励員の生涯学習フェスティバルへの参加は増えたものの、活動内容が自己研鑽からさらに一歩進んだ活動が課題といえる。今後も、関係団体との連携をとりながら、より一層充実した活動が望まれる。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	・生涯学習奨励員とは生涯学習を盛んにするために、市民の身近な所で学習活動を奨励、援助していくことが役割であるが、個々には素晴らしい活動をしているのだから、奨励員全体としての活動が見えにくい傾向にある。「まずできることから」が基本ではあるものの、今後の活発な活動を要望する。

重点施策点検・評価表

3-3-2

推進目標			
3	市民の学習環境の充実		
重点施策			
4	市民の生きがいづくりの推進と生涯学習ボランティア活動者登録と活用		担当課(館)
	③ 「おおだて人財名簿」の充実と活用		生涯学習課
	活動内容	特技や知識をもつ市民を、学習ボランティアとして募集・登録し、学校や公民館などの関係機関に紹介し、学習活動に活用してもらう。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る 今年度は169名が登録。更新時に活動実績を調査したところ、67名、397件の実績が報告された。件数は前年を上回り、市民の活動やボランティアなどの人材活用に機能している事が評価できる。	
		課題等	引き続き、特技や知識をもつ市民を、学習ボランティアとして募集・登録し、学校や公民館などの関係機関に紹介し、学習活動に活用してもらう。名簿の充実については、各地区公民館、学校、施設等のボランティア・人財の洗い出し、発掘により、現在ある「人財名簿」に加えてのデータベース化をはかり、今後の利用に関しては、人財の加除を行えるようにしていくこととする。
	学識経験者等の意見	・地域の大切な資源として特技や知識を持つ人を登録し、様々な場所で活用していくことは、「元気な街づくり」につながる大切なことで、評価できる。 また、人財の洗い出し、発掘により名簿のデータベース化をはかろうとしていることは高く評価できる。 幅広く募集・登録して活用することを望む。	
	④ 出前講座の充実と活用		生涯学習課
	活動内容	市民の身近な問題や市政情報など、市民の要望により提供し、ともに「まちづくり」をすすめる。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る 今年度は、41講座。1月末で62件、1,730人の参加者があり、昨年度に比して小規模開催の増加により参加人数は減少しているものの、町内会、老人クラブ、学校の総合学習など、幅広く活用されている。 市民の学習活動や市の情報提供に活用されていることは評価できる。	
		課題等	引き続き、市民の学習要望に応じていきたい。
学識経験者等の意見	・市民の学ぶ意欲に応えるためにも継続を望む。		

重点施策点検・評価表

3-3-3

推進目標	
3	市民の学習環境の充実
重点施策	
3	市民の生きがいづくりの推進と生涯学習ボランティア活動者登録と活用
	担当課(館)
	生涯学習課
⑤ 生涯学習フェスティバルの実施	
活動内容	広く市民に対し、生涯学習に関する実践活動や理解する機会を提供し、市民一人ひとりの生涯学習への意欲を高める。9、10月を生涯学習強調月間、9月25、26日をメイン開催日とし、社会教育関連施設等を会場に協賛を含む約20の事業を行う。リサイクル関連企業との連携を推進し、内容の充実を図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る 今年で20回目になり、生涯学習実践発表の場として定着している。リサイクル関連企業との連携による企画や発明工夫展の同日開催により、他のイベントと輻輳する時期にも関わらず、参加者が増加した事は評価できる。
課題等	今後も、効果的な開催となるよう、各団体との調整、見直しを図る必要がある。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	・20回と継続実施し、生涯学習実践発表の場として定着していることは一定の評価が出来る。内容についてのマンネリ化はないかさらに検証が必要ではないか。 ・せっかくの実践発表の場への集客の工夫も必要であろうし、関係施設などと連携して開催のことを望む。
⑥ 大学公開講座の実施	
	生涯学習課
活動内容	秋田看護福祉大学による公開講座。市民の日常生活にかかわりの深い福祉について、多角的で分かりやすい講義を実施し、市民の多様化・高度化する学習への要望に応える。7月中旬に3日間実施する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る 福祉をテーマに開講した。時代に適応したテーマを取り上げているが、受講者の固定化が進んでいるものの、受講者数は延べ150人と増加したことは評価できる。
課題等	今後も市民のニーズにあったテーマでの開講を、大学側と調整していく必要がある。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	・大学との連携で市民の多様化、高度化する学習意欲に対応した講座を開講できたことは評価できる。 ・参加者が固定化が進んでいるのであれば、職能短大に協力要請する等の工夫も必要であろう。

重点施策点検・評価表

3-3-4

推進目標			
3	市民の学習環境の充実		
重点施策			
3	市民の生きがいづくりの推進と生涯学習ボランティア活動者登録と活用		担当課(館)
	⑦ 公民館事業における生涯学習への取り組み		中央公民館
	活動内容	生きがいづくり推進のため、市民向けの講座を開催する。「老壮大学」「パソコン講座」生涯学習フェスティバル参加への支援、協力 各サークルの作品展示、発表に対し積極的な支援、協力をを行う。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る 老壮大学では、各種講演会とクラブ活動を実施しており、高齢者の生きがいづくりの場として、成果を挙げている。パソコン講座や救急救命講座は、根強い人気を博しており、今後も維持していく必要がある。 20回を数える生涯学習フェスティバルは、各サークル等における日ごろの活動の発表の場として定着している。他団体主催のイベントも同日に多く行われている中、参加者が増加したことは評価できると考える。	
		課題等	老壮大学は、以前は400人を超える方々が在籍されていたが、22年度は277人と年々減少してきており、募集方法等で工夫する必要がある。 パソコン講座や救急救命講座は、根強い人気を博しているものの、22年度は定員割れしている講座もあることから、募集方法や内容等を、検討する必要がある。 生涯学習フェスティバルは、生涯学習実践発表の場として定着しているが、展示・発表等を行うサークル・団体が固定化しており、もっと広げる必要がある。
	学識経験者等の意見	・老壮大学は、40年も継続しており、生涯学習を推進する上でも優れた事業である。今後も学生による自主運営を進めながら、継続していただきたい。 ・市民向けの各種講座は、参加者の意見・要望を伺ったうえで、改良しながら継続していただきたい。 ・生涯学習フェスティバルは全国的に見ても先進的な取り組みであり、継続していただきたいが、参加団体の増加や参加方法を、再度検討すべきである。	
	活動内容		
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る	
		課題等	
	学識経験者等の意見		

重点施策点検・評価表

3-4

推進目標			
3	市民の学習環境の充実		
重点施策			
4	地域や団体等の活動を促進、支援		担当課(館)
	① 補助金交付による支援		生涯学習課
	活動内容	大館市連合婦人会(女性の地位向上・地域連帯強化)、大館市芸術文化連盟(芸術文化の創作発展)等への補助金交付により、その活動を支援する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る 市の予算の範囲内での補助金交付であり、交付額の減少により、各団体のそれぞれの活動内容の工夫がされているものと思われる。	
		課題等	今後も市の予算の範囲内で交付する。
	学識経験者等の意見	・市の厳しい財政事情もあるが、継続して各団体を支援していただきたい。	
	② 公民館事業における地域支援		中央公民館
	活動内容	地区公民館、分館への予算配分及び活動事業の支援・指導の実施 地区ごとに特徴ある公民館活動を行うため、事業費の効率的な配分を行い、地域の活性化に資する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る 各地区公民館においては、各種事業を町内会長連絡協議会や地区スポーツ振興会等と連携して行うことで、公民館の経費を有効に支出しており、住民協働の活動を展開している。	
		課題等	地域活性化のためにも、町内会長連絡協議会や地区スポーツ振興会と事業を共有することは大切であるが、公民館主事が地区の事務局的存在となっているところもあり、本来業務に差し支える場面も否めないことから、慎重とならざるを得ない地区もある。
学識経験者等の意見	・市の厳しい財政事情もあるが、地区公民館・分館は地域コミュニティづくりの最前線であることから、適切な予算配分と、継続した支援をしていただきたい。		

重点施策点検・評価表

3-5-1

推進目標			
3	市民の学習環境の充実		
重点施策			
5	図書館活動の推進と充実		担当課(館)
	① 図書館情報システムの整備促進		中央図書館
	活動内容	平成23年度に花矢、田代図書館に図書館情報システムを導入し市内全図書館の図書館情報ネットワークシステムを構築する予定であり、システム導入の前提となる蔵書データ入力を進めた。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る 「住民生活に光を注ぐ交付金事業」を活用して平成23年度に市内全図書館の図書館情報ネットワークシステムを構築する予定であり、21年度から3年計画で進めてきた蔵書データ入力も緊急雇用対策事業を活用し花矢図書館及び田代図書館の蔵書約15,000冊分実施できた。システム構築に合わせて来年度も蔵書データ入力を進める。	
		課題等	平成23年度に花矢、田代図書館へ図書館情報システムを導入し市内全図書館のネットワークシステムを構築する予定であり、事務の合理化と市民サービスの向上のため円滑な稼働となるよう進めていきたい。今後、インターネットの普及により、閉館時でも図書館蔵書の検索などができるインターネット蔵書検索・予約システムを早期に構築する必要がある。
	学識経験者等の意見	図書館情報ネットワークシステムは市内のどこの図書館でも市内全図書館の蔵書の有無や貸出の状況などがリアルタイムで分かるものである。事務の合理化のみならず、選書や相互貸借、レファレンスなど図書館サービス向上に大きく役立つことが期待される。目標どおり平成23年度に全館整備される目処がたったことは評価できる。	
	② 図書館資料の充実		中央図書館
	活動内容	市民・団体等へ図書(特に新刊書、郷土資料)の寄贈を働きかけて蔵書の充実を図るとともに、市内の図書館はもちろん県立図書館などとの連携により、相互貸借やテーマ図書の借用を進めて市民のニーズに応える。	
	点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る 昨年度から市民・団体等へ協力を働きかけ、本年度は約400冊の寄贈図書が寄せられた。さらに、市が取得した地デジTV購入によるエコポイントを活用(図書カード約300万円分、22、23年度で使用)し資料の充実が図れた。また、市内の図書館や県立図書館等を積極的に活用し、利用者の要望に応えることができた。	
		課題等	毎年度図書購入費が減額しているため、定期購読資料(新聞、雑誌など)の見直し、市民・団体等からの寄贈や県立図書館等からの借用を余儀なくされている。このため、図書購入費の確保に努力するとともに、指定管理者制度の導入や市内4図書館の役割見直しなどの検討が必要である。
学識経験者等の意見	資料の充実が図書館サービスの原点であり、寄贈協力を得るための働きかけにより多くの新刊書や郷土資料が提供され、またエコポイントの活用により資料の充実が図られたことは高く評価できる。しかし、厳しい財政事情とはいえ、図書購入費が毎年減額されており、「市民の学習する権利の保障」という点から一定の額を確保する必要がある。		

重点施策点検・評価表

3-5-2

推進目標			
3	市民の学習環境の充実		
重点施策			
5	図書館活動の推進と充実		担当課(館)
	③ 読書活動推進事業の展開		中央図書館
	活動内容	出来るだけ早い時期から「本に親しむ習慣」をつけるため、ブックスタート事業を充実させるとともに、「読み聞かせ会」を市内全図書館で実施する。また、地域や図書館の特色のある読書活動推進事業にボランティアの導入を促進する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る ボランティアと連携した「読み聞かせ会」を全館で実施したほかブックスタート事業を継続して実施した。また、「読書感想文コンクール」や「真崎コレクション展」など各図書館の特色のある事業を実施し多くの参加者があった。	
		課題等	「読み聞かせボランティア」は読書活動推進事業のメイン事業として全地域で定着しているが、その他の事業についてはボランティアの参加が少ない。そのため、各種事業を見直し、より多くのボランティアが参加し活動できるものにする必要がある。
	学識経験者等の意見	さまざまな読書活動推進事業が展開されているが、今後さらに充実させるため、新聞や市ホームページなどを利用し積極的なPRを行い、中央図書館後援会など関係団体やボランティアとの連携を進めていく必要がある。	
	④ 本と親しめる場の拡大		中央図書館
	活動内容	移動図書館車の巡回範囲を比内、田代地域にも拡大するとともに、今後活用しないとした図書を他の施設に提供し「本と親しめる場」の拡大・充実を図る。また、県の「子ども読書夢プラン事業」を活用し、学校図書館支援のための司書を派遣する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る 移動図書館の更新にともない巡回範囲を比内・田代地域にも拡大してステーションの見直しを行なった結果、利用者数も大幅に増え、市民サービスの向上につながった。さらに、昨年度に引き続き社会教育施設など7施設に図書を提供するとともに、県の「子ども読書夢プラン事業」を活用し、市内小・中学校10校へ司書を派遣することで本と親しめる場の拡大と充実を図ることができた。	
		課題等	市立総合病院に「本と親しめる場」を設ける予定であったが、書架の整備や管理のあり方などの課題を解決できず進展していない。今後も、病院と協議を進め具体化していきたい。なお、移動図書館車のステーションは継続して見直しを行い、効率的な運営を図る必要がある。
学識経験者等の意見	新しい移動図書館車により巡回範囲が拡大され、より多くの市民が利用できるようになったことは評価できる。また、公的施設に図書を提供することは図書の有効利用にもなり、「本と親しめる場」の拡大・充実につながることから、市立総合病院などと協議し進めるべきである。なお、県の「子ども読書夢プラン事業」を活用して、今後も学校図書館との連携を積極的に進めていただきたい。		

重点施策点検・評価表

3-6-1

推進目標	
3	市民の学習環境の充実
重点施策	
6	芸術文化の振興を図るための鑑賞機会の提供
	担当課(館)
	生涯学習課
	① 市民文化会館主催事業への協力
活動内容	主催事業の広報、参加の呼びかけ等の協力。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る 文化会館の運営が指定管理で委託されていることにより、主催事業に関して芸術文化の所管課としてのかかわりが少なかった。
課題等	文化会館との連携をしていく。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	・せっかくの文化施設であり、大館にいて触れる機会の少ない中央の演奏家のコンサートなどで集客できていないことは残念なことである。さらに連携していくことが必要ではないか。 ・指定管理で委託しているので、難しいかもしれないが、市でのPRも必要でないか。
	② 「本物の舞台芸術体験事業」の展開
	生涯学習課
活動内容	文化庁の「子どものための優れた舞台芸術体験事業」の開催にあたり、市内各小中学校への事業周知や申請手続き等の支援を行う。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る 今年度は、釈迦内小、早口小にオーケストラ、長木小に児童劇、成章小にバレエが採択され、それぞれ実施され、優れた舞台芸術を鑑賞する事ができた。
課題等	「子どものための優れた舞台芸術体験事業」は事業仕分けで廃止され、文化庁では「次世代を担う子どもの文化芸術体験事業」として同様の事業を実施予定としている。 23年度事業として各学校への周知をした結果、東中、西館小、下川沿小、有浦小、雪沢小、矢立小の6校が希望している。 同様の事業は市単独では実施不可能であり、今後も引き続き、市内各小中学校への事業周知や申請手続き等の支援を継続する。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	・いいものを観たり、聴いたりすることで子どもたちの情操は豊かになる。都会のように身近に「舞台芸術」といわれるものが溢れているわけではないので、このような事業の実施は高く評価できる。 ・できれば、全学校を対象に全市的な機会の提供を要望したいが、厳しい財政事情もあるので、本事業を継続して実施していただきたい。

重点施策点検・評価表

3-7-1

推進目標			
3	市民の学習環境の充実		
重点施策			
7	文化財の保護と調査及び利活用の推進		担当課(館)
	① 埋蔵文化財調査		郷土博物館
	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・茂木屋敷跡発掘調査は、5月6日から10月30日までで調査が完了する予定。 ・埋蔵文化財詳細分布調査(国庫補助事業)は、4月現在、二井山、商人留地区を予定しているが、開発行為がある場合は随時追加して調査する。 	
	点検評価	<ul style="list-style-type: none"> ■ 目標を上回る □ 目標どおり □ 目標をやや下回る □ 目標を大幅に下回る ・茂木屋敷跡発掘調査は、予定どおり調査が完了した。また、発掘調査説明会を10月17日に開催した。 ・埋蔵文化財詳細分布調査は、開発行為が予定されている二井山他7箇所を調査した。また、矢立廃寺跡も未発掘地の一部を調査した。 	
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・開発行為者との間における埋蔵文化財調査の日程調整に苦労している。 ・発掘調査担当者が2名のため、発掘作業現場管理に時間を要し、調査報告書の作成が遅れ気味である。 	取組の方向性 ■ 継続 □ 廃止検討 □ 単年度
	学識経験者等の意見	十二所茂木屋敷の発掘は、当地域における近世武家生活のありようを示す資料の出土があり、陶器等広く他地域からの移入の品もあって、その質は高く、報告書の早い刊行が待たれる。平成21年、大英博物館「土偶展」に出品し、世界の場に登場した、「塚ノ下遺跡(大茂内)出土土偶」が、平成22年度に県文化財に指定され、それに伴い、市指定を解除す。何れも当市の出土品の質の高さを語るものだろう。	
	② 秋田三鶏記念館事業の推進		郷土博物館
	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・展示事業は4月1日から11月30日まで実施する。 ・孵化、育雛事業は、H22年3月から6月まで実施する。 ・三鶏登録体制を確立する。 	
	点検評価	<ul style="list-style-type: none"> □ 目標を上回る □ 目標どおり ■ 目標をやや下回る □ 目標を大幅に下回る ・展示事業は、予定どおり実施した。 ・孵化事業は、H22年3月24日から5月28日まで計3回実施した。育すう事業は、発生後1ヶ月間、135羽の発生に対して75羽行った。 ・三鶏の登録は、保存会役員が県内会員宅を訪問し、優良鶏に足輪を取付け、秋田声良鶏、比内鶏、金八鶏登録簿兼飼育交配指導書に登録した。 	
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・孵化事業は、初回の発生率が8.3%と低かったが、3回目は88.7%と高い数値となり安定化できた。次年度は、初回から発生率の安定化を図るため、早期に孵化試験を行い本孵化作業に備えたい。また、育すう事業は、発生羽数に対して5割程度であった。これは、発生後すぐにひなを引き取る会員がいたためであり強制はできないので、今後も協力をお願いしていく。 ・三鶏の登録は、足輪が高価であるため今後も優良鶏のみの登録としたい。このことについては、種の保存の意義からして適当と考える。 	取組の方向性 ■ 継続 □ 廃止検討 □ 単年度
学識経験者等の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・孵化、育すう、展示の各事業の推進には、秋田三鶏保存会との良好な協力関係の維持が大切と考えるので、今後とも努力されたい。また、孵化、育すう事業に関しては、秋田三鶏保存会の長年の実績に加え、秋田県農林水産技術センター畜産試験場(大仙市)や秋田県北部家畜保健衛生所(北秋田市)の助言や技術指導を受け、さらなる技術の向上を図られたい。 		

重点施策点検・評価表

3-7-2

推進目標				
3	市民の学習環境の充実			
重点施策				
7	文化財の保護と調査及び利活用の推進		担当課(館)	
	③ 文化財保存事業補助金交付要綱の設置		郷土博物館	
	活動内容	・大館市文化財保護条例および同条例施行規則では、管理または修理につき多額の費用を要する場合、予算の範囲内で補助できることとなっているが、補助率等の基準が明確になっていないため要綱を設置する。		
	点検評価	□目標を上回る ■目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る		
		・名称を「大館市文化財保存事業費補助金要綱」とし、H22年6月17日から施行した。補助率は1/2以内とし、最終的には予算の範囲内とした。		
	課題等	・この要綱(案)作成に当たっては、議会から、補助対象範囲を明確にするよう意見があったため、保護管理する上で必要かつ重要な事業とし、定期的に行わなければならない改修等の事業は含まないこととした。	取組の方向性	
			<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度	
	学識経験者等の意見	大館市文化財保存事業補助金交付要綱の施行は、当市文化事業にとって大きな意義を持つものであろう。具体的には「松峯山信仰遺跡群」中の松峯神社の雪害修理への補助があげられる。他に所蔵者負担による、玉林寺の市文化財「延命地藏菩薩」修理も行われ、博物館所蔵の伊勢正義の絵の大作「漁夫たち」も進行中である。この三件についてみても、その費用の在り方は一様ではない。今後とも個々の件については補助をどうするか、課題はあるが、文化財に対する当市の目配りは評価されよう。		
	④ 文化財保護・郷土芸能継承の中長期計画の設定		郷土博物館	
	活動内容	・第4次大館市社会教育中期計画は、平成22年度が最終年度であるため、平成23年度以降の中期計画の策定と、さらに郷土博物館として10年後を目標とする中長期計画を設定する。		
点検評価	□目標を上回る ■目標どおり □目標をやや下回る □目標を大幅に下回る			
	・第5次大館市社会教育中期計画は、社会教育委員等が検討し、生涯学習課がとりまとめ、3月には答申する予定となっている。 ・社会教育中期計画とは別に、大館郷土博物館の今後の指針となる中長期計画は、1月に素案を作成し、3月の文化財保護審議会、博物館運営審議会、秋田三鶏記念館運営審議会の意見を取り入れた上で、内部計画として取りまとめた。			
課題等	・大館郷土博物館の中長期計画は、社会教育中期計画と異なり強制力はないが、中長期の指針であるため、短期の諸計画の方向を拘束するものとなる。	取組の方向性		
		<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度		
学識経験者等の意見	市に現在、存続してきている民俗行事・芸能等をどういう形で継承していくか。それを支えてきた基盤が揺らいでいる昨今、難しい問題だと思うが、せつかく地域の人々の中に生きてきた行事・芸能等その保護、継承に手を尽くしていきたいものである。 なお、「鳥潟会館・同庭園(旧鳥潟家住宅・庭園)」の、県指定文化財も喜ばしいことで、大館市出身者である、著名な鳥潟家の人々の功績をも一層知らしめることになる。			